

(調査表1)

公立病院改革プランの実施状況

資料 4

団体コード	162108
施設コード	001

団 体 名		南砺市										
プ ラ ン の 名 称		新南砺市立病院改革プラン										
策 定 日		平成 29 年		3 月		23 日						
(改定があった場合は、改定後の策定日)		平成 年		月		日						
対 象 期 間		平成 28 年度		～		平成 32 年度						
(改定があった場合は、改定後の期間)		平成 年度		～		平成 年度						
病院の現状	病 院 名	南砺市民病院										
	所 在 地	南砺市井波938番地										
	病 床 数	許可病床	175	床	(うち一般175床)							
		稼働病床	175	床	(うち一般175床)							
		乖離理由										
現在の経営形態	公営企業法財務適用											
診療科目	内科、外科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、脳神経外科、腎臓内科(人工透析)、泌尿器科、皮膚科、放射線科、消化器外科、リハビリテーション科、婦人科、肛門外科、心療内科、精神科、歯科口腔外科											
地域医療構想等を踏まえた役割の明確化	医療機能等指標に係る数値目標	1)医療機能・医療品質に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考
		救急患者数(時間外外来)〈人〉		2,356	2,316	2,361	2,398	2,370	2,375	2,380	2,385	
		手術件数(件)		800	654	600	586	700	800	800	800	
		患者紹介(転入)延べ件数(件)		2,465	2,333	2,340	2,499	2,350	2,360	2,370	2,380	
		患者逆紹介(転出)延べ件数(件)		1,544	1,586	1,590	1,704	1,600	1,610	1,620	1,630	
		在宅復帰率(回復期病床・%)		98.0	97.6	97.5	99.4	97.0	97.0	97.0	97.0	
		在宅復帰率(地域包括ケア病床・%)		85.7	87.6	85.0	79.9	84.0	84.0	84.0	84.0	
		2)患者満足度(%)		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考
		診療(検査・治療)内容		98.5	98.7	98.8	97.9	98.9	99.0	99.0	99.0	
		入院中の看護内容		99.2	99.0	99.0	98.8	99.0	99.0	99.0	99.0	
受付窓口の接客態度		97.8	98.8	98.9	98.8	99.0	99.0	99.0	99.0			
食事の内容		95.3	96.3	96.4	95.7	96.5	96.6	96.7	96.8			
経営の効率化	経営指標に係る数値目標	1)収支改善に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考
		経常収支比率(%)		92.4	96.4	96.4	98.2	97.6	100.5	100.2	100.1	
		医業収支比率(%)		86.7	89.1	88.5	90.6	90.4	92.6	92.9	93.1	
		不良債務比率(%)		△ 31.6	△ 33.1	△ 33.1	△ 34.8	△ 31.3	△ 35.7	△ 39.9	△ 43.7	
		累積欠損金比率(%)		47.6	53.2	57.2	55.3	57.5	55.1	54.8	54.5	
		2)経費削減に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考
		診療材料費の対医業収益比率(%)		14.7	14.2	13.9	13.8	14.4	14.3	14.3	14.2	
		委託費の対医業収益比率(%)		9.0	9.9	10.3	10.3	10.8	10.5	10.5	10.4	
		人件費の対医業収益比率(%)		70.4	73.0	74.0	71.5	71.8	70.1	70.2	69.9	
		減価償却費の対医業収益比率(%)		8.6	9.3	9.2	9.2	8.5	8.2	7.8	8.0	
		3)収入確保に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考
		1日当たり入院患者数(人)		139.8	134.3	134.8	140.3	136.5	138.3	138.3	138.3	
		1日当たり外来患者数(人)		412.1	410.1	410.0	407.2	411.0	412.0	412.0	413.0	
		病床利用率(%)		79.9	76.7	77.0	80.2	78.0	79.0	79.0	79.0	
		平均在院日数(日)		15.6	14.4	14.5	14.5	14.5	15.0	15.0	15.0	
		4)経営の安定性に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考
		常勤医師数(人)		23	21	21	21	22	23	24	24	H29:放射線科医 H30:整形外科医の2 名体制
		現金保有残高(百万円)		1,054	1,077	1,113	1,128	1,148	1,283	1,401	1,527	H31:循環器内科医
		企業債残高(百万円)		4,163	3,954	3,686	3,685	3,384	3,054	2,935	2,657	
		上記目標数値設定の考え方		地域住民の医療体制の確保及び医療の提供を図るとともに、当院の医療資源を有効に活用した経営の効率化と収支改善の観点により、上記数値目標を設定した。								
	経常収支比率に係る目標設定の考え方		主な取り組みとして、平成29年から平成31年まで、医療機能の強化向上のため非常勤医師を常勤化し、収益の増額を目指す。特に整形外科においては、従前の2人体制として回復期病棟の利用率向上を図ることにより、在宅復帰へ向けた患者支援体制の強化を進める。また、経常的経費(施設維持管理ほか)の増加を最小限に留め、減価償却費の減により、医業費用の増大の抑制を図る。 新病院改革プラン対象期間である平成32年度までのうち、平成30年度以降は経常黒字となることを目指し、上記数値目標を設定している。									

		団体名 (病院名)	南砺市民病院
経営の効率化	数値目標達成に向けての具体的な取組計画及び実績	計画	実績
		1) 2年ごとに改訂される診療報酬にかかる情報の収集及び当院として増益となる部分の検証を進める。 2) 職員個々に経営意識を持たせるための職員研修を実施する。 3) 人事評価制度により、職員の目標設定の明確化と意識改革を図り、職員資質向上を図る。	1) H28診療報酬改定に伴い、施設基準に応じた届け出を適切に行った。 2) 職員に経営意識を持たせるための看護部・診療技術部合同研修会を実施した。 3) 人事評価を導入することにより、職員の資質向上を図った。
		計画	実績
		1) 在宅復帰のため回復期医療を充実する。(医師、看護師、他の多職種による医療チーム活動の充実、土日でのリハビリの拡充等) 2) 診療報酬の改定に伴い、7対1看護体制の継続可能等の見直しを検討する。 3) 重症患者管理の向上のため、ハイケアユニット(HCU)病床の設置を検討する。	1) 患者とその家族が入院から退院まで、そして退院後も、安心・安全に医療サービスが継続して受けられ、再び地域で生活していただけるよう、切れ目のない支援をするために患者総合支援センターを設置した。 2) 7対1看護体制を継続した。 3) 未実施
		計画	実績
		1) 2病院4診療所の統一可能な経費及び委託業務等で、スケールメリットを活かした経費削減策を検討する。 2) 病院機能及び安全対策を確保しながら人員の適正配置を考慮し、人件費抑制を進める。 3) 後発医薬品を積極的採用し、薬品費の削減に努める。 4) 診療材料費のSPDと共同購入事業の参画により、より安価な商品の導入を進める。 5) 事務部門等の集約化を図り、人件費・施設管理費などの抑制に努める。 6) 施設や設備の整備については、将来的に診療科などの部門集約や共有化を図っていく方向にあることから、更新等に際しては必要最小限のものにとどめ、経費抑制に努める。	1) 委託業務において2病院で契約の一本化となりうるものの洗い出しを行った。 2) 病院機能及び安全対策を確保しながら人員の適正配置に努めた。 3) 後発医薬品を積極的採用し、薬品費の削減に努めた。(使用率79.6%) 4) H28は3,495千円の削減となり、前年比較1,672千円増加した。商品採用率は約59%であった。今後、更に安価な商品の採用を進めていく。 5) 未実施 6) 医療機器については、医療材料医療機器購入委員会で精査し、必要最小限の更新を行った。
経営の効率化	数値目標達成に向けての具体的な取組計画及び実績	計画	実績
		1) 常勤医師増員に努め、病棟運営に必要な看護師の確保により患者受入体制を整え、稼働率を向上し収益の増を図る。 2) 回復期リハビリ病床と地域包括ケア病床による回復期機能の強化により、入院収入の増を図る。 3) 診療報酬の改定による加算点数の解析を行い、当院での現状と対策を検討する。 4) 近隣病院と連携し、DPCデータの解析を行い、DPC機能評価係数の解析を進め、当院のベンチマークを確認し、収支改善を図る。	1) 病床利用率は80.2%で計画に比べ3.2ポイントの増となった。 2) 病床利用率は回復期リハビリ病床で77.4%(前年78.3%)、地域包括ケア病床で78.8%(前年68.8%)となった。 3) 病院経営解析ソフト「EVE」を用いて、医療内容の解析を行った。また、病院経営改善プロジェクトを立ち上げた。 4) 近隣病院と連携し、H27年度のDPCデータの解析を行った。DPC機能評価係数の解析を進め、当院のベンチマークを確認した。
経営の効率化	数値目標達成に向けての具体的な取組計画及び実績	計画	実績
		1) 初期研修医の基幹病院として、人材の育成・教育の他、専門医の育成、学生の受け入れを進め、研修医等にも選ばれる病院を目指す。 2) 病院機能評価を受審し、当院の病院機能の堅持・向上を行い、患者に信頼される病院を目指す。	1) 初期研修医4名を受け入れた。 2) 病院機能評価を受審し、組織全体の運営管理及び提供される医療について認定を受けた。

各項目における実績の分析と自己評価	地域医療構想を踏まえた役割の明確化	- 救急患者数は、救急患者を積極的に受け入れることにより計画より37人増となった。 - 手術件数は、医師の減少・異動により計画より14件減となった。 - 患者紹介(転入)は計画に比べ159件の増となった。また、患者逆紹介(転出)は計画に比べ114件の増となった。病院、診療所からの紹介・逆紹介が増加したことが要因であった。これからも地域医療を支える病院として医療機関等との連携の強化を進めていきます。 - 回復期病床の在宅復帰率は、計画値より数値が上回っており、医療スタッフの努力により目標を達成した。 - 地域包括ケア病床の在宅復帰率は、計画値に届かなかったのは、在宅で介護することができない患者が増えたものと考えられる。 - 患者満足度については、医療スタッフの努力により、ほぼ計画値に近い結果となった。 ※以上のことから、概ね計画にあげた目標数値となっており、計画は順調に進んでいる。
	経営の効率化	- 外来患者数は計画値より数値が下回ったが、入院患者数及び病床利用率は計画値より数値が上回った。 - 手術件数の減により医業収益は計画値より数値が下回ったものの、人件費及び診療材料費の削減により医業費用は計画値より大幅に削減することができたため、経常収支比率・医業収支比率は目標を達成した。 - 地域のニーズに合った医療機能の強化や収益の確保に努めるとともに施設の維持管理を行いながら、経費の削減に引き続き取り組み、健全経営に向けた一層の努力を重ねていきます。 ※以上のことから、不断の経営努力により、H28年度の収益は改善した。
	その他	○再編・ネットワーク化、○経営形態の見直し、○点検・評価・公表等について、平成28年度は計画を策定した。具体的な取組の実施は平成29年度からとなるため、評価は次回からとなる。

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

年度		25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	28年度(実績)	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)	32年度(計画)
区 分										
収 入	1. 医 業 収 益 a	2,986	3,080	2,992	3,006	2,990	3,145	3,251	3,257	3,269
	(1) 料 金 収 入	2,821	2,901	2,812	2,824	2,801	2,962	3,075	3,080	3,090
	(2) そ の 他	165	179	180	182	189	183	176	177	179
	うち他会計負担金	38	38	38	38	38	38	38	38	38
	2. 医 業 外 収 益	291	344	379	395	377	373	400	389	383
	(1) 他会計負担金・補助金	262	274	328	344	330	329	348	336	330
	(2) 国 (県) 補 助 金	16	11	13	13	12	12	11	11	11
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	0	38	23	21	21	19	19	18	18
	(4) そ の 他	13	21	15	17	14	13	22	24	24
	経 常 収 益 (A)	3,277	3,424	3,371	3,401	3,367	3,518	3,651	3,646	3,652
支 出	1. 医 業 費 用 b	3,408	3,552	3,359	3,397	3,299	3,478	3,510	3,506	3,511
	(1) 職 員 給 与 費 c	2,121	2,167	2,183	2,223	2,138	2,257	2,280	2,285	2,285
	(2) 材 料 費	432	453	426	418	412	454	465	465	465
	(3) 経 費	449	440	455	459	456	479	479	480	480
	(4) 減 価 償 却 費	200	265	277	278	276	268	265	255	260
	(5) そ の 他	206	227	18	19	17	20	21	21	21
	2. 医 業 外 費 用	151	153	137	131	129	128	124	134	138
	(1) 支 払 利 息	59	61	61	57	57	53	48	48	45
	(2) そ の 他	92	92	76	74	72	75	76	86	93
	経 常 費 用 (B)	3,559	3,705	3,496	3,528	3,428	3,606	3,634	3,640	3,649
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		▲ 282	▲ 281	▲ 125	▲ 127	▲ 61	▲ 88	17	6	3
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)		1							
	2. 特 別 損 失 (E)	1	118							
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	▲ 1	▲ 117	0	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)		▲ 283	▲ 398	▲ 125	▲ 127	▲ 61	▲ 88	17	6	3
累 積 欠 損 金 (G)		1,070	1,467	1,593	1,720	1,654	1,742	1,725	1,719	1,716
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	2,252	1,565	1,569	1,607	1,659	1,625	1,764	1,886	2,016
	流 動 負 債 (イ)	952	591	579	612	617	641	602	588	587
	うち一時借入金									
	翌年度繰越財源(ウ)									
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)									
差引不良債務(オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]		▲ 1,300	▲ 974	▲ 990	▲ 995	▲ 1,042	▲ 984	▲ 1,162	▲ 1,298	▲ 1,429
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		92.1	92.4	96.4	96.4	98.2	97.6	100.5	100.2	100.1
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		▲ 43.5	▲ 31.6	▲ 33.1	▲ 33.1	▲ 34.8	▲ 31.3	▲ 35.7	▲ 39.9	▲ 43.7
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		87.6	86.7	89.1	88.5	90.6	90.4	92.6	92.9	93.1
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$		71.0	70.4	73.0	74.0	71.5	71.8	70.1	70.2	69.9
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)		▲ 1,300	▲ 974	▲ 990	▲ 995	▲ 1,042	▲ 984	▲ 1,162	▲ 1,298	▲ 1,429
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$		▲ 43.5	▲ 31.6	▲ 33.1	▲ 33.1	▲ 34.8	▲ 31.3	▲ 35.7	▲ 39.9	▲ 43.7
病 床 利 用 率 (一 般 病 床)		80.7	79.9	76.7	77.0	80.2	79.0	79.0	79.0	0.0

団体名 (病院名)	南砺市民病院
--------------	--------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位: 百万円、%)

年度		25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度	28年度(実績)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分										
収 入	1. 企 業 債	802	410	92	45	44	45	45	217	45
	2. 他 会 計 出 資 金	150	151	193	200	200	205	233	204	188
	3. 他 会 計 負 担 金									
	4. 他 会 計 借 入 金									
	5. 他 会 計 補 助 金									
	6. 国 (県) 補 助 金	226	4	4	5	5	3		50	3
	7. そ の 他	5								
	収 入 計 (a)	1,183	565	289	250	249	253	278	471	236
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)									
	前年度許可債で当年度借入分 (c)									
	純計(a)-[(b)+(c)] (A)	1,183	565	289	250	249	253	278	471	236
支 出	1. 建 設 改 良 費	1,061	420	99	52	52	52	50	278	50
	2. 企 業 債 償 還 金	224	238	300	313	313	346	375	336	323
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金									
	4. そ の 他									
	支 出 計 (B)	1,285	658	399	365	365	398	425	614	373
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	102	93	110	115	116	145	147	143	137
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	102	93	110	115	116	145	147	143	137
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額									
	3. 繰 越 工 事 資 金									
	4. そ の 他									
	計 (D)	102	93	110	115	116	145	147	143	137
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
	実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位: 百万円)

	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	28年度(実績)	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)	32年度(計画)
収 益 的 収 支	(105) 300	(109) 312	(164) 366	(170) 382	(171) 368	(152) 367	(152) 386	(138) 374	(132) 368
資 本 的 収 支	150	151	193	200	200	205	233	204	188
合 計	(105) 450	(109) 463	(164) 559	(170) 582	(171) 568	(152) 572	(152) 619	(138) 578	(132) 556

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう

(調査表1)

公立病院改革プランの実施状況

団体コード	162108
施設コード	003

団 体 名		南砺市											
プ ラ ン の 名 称		新南砺市立病院改革プラン											
策 定 日		平成		29 年		3 月		23 日					
(改定があった場合は、改定後の策定日)		平成		年		月		日					
対 象 期 間		平成		28 年度		～		平成		32 年度			
(改定があった場合は、改定後の期間)		平成		年度		～		平成		年度			
病院の現状	病 院 名	公立南砺中央病院											
	所 在 地	南砺市梅野2007番地5											
	病 床 数	許可病床	190	床	(うち一般145床 療養45床)								
		稼働病床	149	床	(うち一般104床 療養45床)								
		乖離理由	医師・助産師の不足に伴い、41床を休床している。										
現在の経営形態	公営企業法財務適用												
診療科目		内科、外科、小児科、整形外科、放射線科、眼科、循環器科、リハビリテーション科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、産婦人科、消化器科、脳神経外科、呼吸器科、心療内科											
地域医療構想を踏まえた役割の明確化	医療機能等指標に係る数値目標	1)医療機能・医療品質に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考	
		救急患者数(人)		1,347	1,543	1,560	1,329	1,580	1,740	1,920	1,920		
		手術件数(件)		345	405	410	450	420	470	520	520		
		患者紹介(転入)件数(人)		1,393	1,685	1,736	1,667	1,788	1,841	1,896	1,953		
		患者逆紹介(転出)件数(人)		926	1,000	1,030	1,078	1,061	1,093	1,126	1,159		
		在宅復帰率(地域包括ケア病床・%)				85.0	90.3	85.0	86.0	86.0	86.0		
		2)患者満足度(%)		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考	
		診療(検査・治療)内容について		98.2	98.1	98.2	98.4	98.3	98.4	98.5	98.6		
		入院中の看護内容について		98.8	98.1	98.2	98.8	98.3	98.4	98.5	98.6		
		受付窓口の接客態度について		99.8	98.2	98.3	98.2	98.4	98.5	98.6	98.7		
食事の内容について		95.5	94.1	94.2	96.5	94.3	94.4	94.5	94.6				
経営の効率化	経営指標に係る数値目標	1)収支改善に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考	
		経常収支比率(%)		89.1	91.9	95.9	97.9	95.9	92.4	98.5	100.2		
		医業収支比率(%)		77.2	78.6	82.5	84.3	81.7	83.1	90.7	92.5		
		不良債務比率(%)		10.2	3.5	△ 2.7	△ 4.7	△ 2.7	0.6	3.1	7.3		
		累積欠損金比率(%)		187.8	202.9	199.7	194.0	197.9	202.7	200.6	197.6		
		2)経費削減に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考	
		材料費の対医業収益比率(%)		20.1	15.5	15.0	14.8	15.0	14.7	14.4	14.2		
		委託費の対医業収益比率(%)		14.7	13.9	13.1	13.8	13.1	12.8	12.6	12.4		
		職員給与費の対医業収益比率(%)		69.9	72.3	69.2	67.4	69.7	69.2	68.4	67.4		
		減価償却費の対医業収益比率(%)		17.5	17.0	16.0	15.8	15.9	15.7	7.2	6.5		
		3)収入確保に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考	
		1日当たり入院患者数(人)		104.3	107.8	108.6	113.8	109.0	77.0	79.0	81.1	※H30から4・5Fのみ	
		1日当たり老健入所者数(人)							41.4	41.4	41.4	※H30から6階転換	
		1日当たり外来患者数(人)		297.3	284.6	285.0	284.9	287.0	290.0	293.0	295.0		
		一般病床利用率(%)		45.8 (63.8)	47.0 (68.9)	50.2 (72.1)	53.5 (74.5)	51.6 (73.5)	75.0	77.0	79.0	※H30から3階廃止 () 休床病床除く	
		療養病床利用率(%)		84.1	79.2	80.0	80.6	80.0				※H29で廃止	
		老健施設利用率(%)							92.0	92.0	92.0	※6階転換	
		平均在院日数(日)		19.2	19.9	13.0	11.7	14.0	14.0	14.0	14.0	※H28からは5Fのみ	
		4)経営の安定性に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	備考	
		常勤医師数(人)		9	9	9	9	9	10	11	11	H30…整形外科医師増員 H31…内科医師増員	
		現金保有残高(百万円)		90	192	323	313	288	264	210	170		
		企業債残高(百万円)		4,581	4,326	4,039	4,063	3,795	3,493	3,333	3,053		
		上記目標数値設定の考え方		地域住民の医療体制の確保及び医療の提供を図るとともに、当院の医療資源を有効に活用した経営の効率化と収支改善の観点により、上記数値目標を設定した。 なお、6階病床は、H30年度より老健施設等としての目標値を設定した。									
		経常収支比率に係る目標設定の考え方		主な収支の動きについては、H28年度は地域包括ケア病床転換による入院収益の増、また、平成29年度以降において医師2名・看護師15名を増員することにより、入院患者受入の拡充を図って病床利用率を上げることで医業収益の増を見込んでいる。6階病床については、平成30年度以降は老健機能としての収入を計上した。 医業費用については、医師・看護師の増員による給与費は増となるが、経常的経費(施設維持管理ほか)・材料費の削減及び建物付帯施設の減価償却終期による償却費の減により、平成31年度から約150百万円の減と見込んでいる。 新病院改革プラン対象期間中である平成32年度までに経常黒字を目指し、上記数値目標を設定している。									

		団体名 (病院名)	
		公立南砺中央病院	
経営の効率化	数値目標達成に向けての具体的な取組計画及び実績	計画	実績
		1)2年ごとに改訂される診療報酬にかかる情報の収集及び当院として増益となる部分の検証を進める。 2)職員個々に経営意識を持たせるための職員研修を実施する。 3)人事評価制度により、職員の目標設定の明確化と意識改革を図り、職員資質向上を図る。	1)H28改定があり、施設基準に応じた届出を適切に行った。 2)H28年度診療報酬改定説明会を実施した。 3)H28から病院正職全職員を対象とし人事評価を開始し、職員資質向上を図った。
		計画	実績
		1)H28年度からの地域包括ケア病床の開設に伴い、回復期機能を充実する。 2)当市は、当分の期間は老年人口の割合が4割を超える状況が続くと見込まれることから、6階療養病床及び3階休止病床を機能転換し、住民ニーズに沿った介護サービス等を提供できる病院を目指す。	1)4階をケア病床転換の結果、前年比病床稼働率7.31%増、入院患者数1,341人の増加となる。 2)療養病床転換にかかる国の方向性について情報収集を行った。
		計画	実績
		1)2病院4診療所の統一可能な経費及び委託業務等で、スケールメリットを活かした経費削減策を検討する。 2)病院機能及び安全対策を確保しながら人員の適正配置を考慮し、人件費抑制を進める。 3)後発医薬品を積極的採用し、薬品費の削減に努める。 4)診療材料費のSPDと共同購入事業の参画により、より安価な商品の導入を進める。 5)事務部門等の集約化を図り、人件費・施設管理費などの抑制に努める。 6)施設や設備の整備については、将来的に診療科などの部門集約や共有化を図っていく方向にあることから、更新等に際しては必要最小限のものにとどめ、経費抑制に努める。	1)H28に委託事業を洗い出し、発注方法などの検討材料として資料作成し、今後、施設整備部会において検討を進める。 2)病院機能等による医師等必要人員の確保はできておらず、今後も適正な人員確保に努め、人件費抑制にも努める。 3)H27年比1,285千円の減額となる。後発医薬品の出ている物に対し、H28利用率77.4% 4)H28は1,965千円の削減となった。商品採用率は約57%であり、今後、更に安価な商品の採用を進めていく。 5)実績なし。 6)診療設備導入計画に基づき、病院機能を維持するために必要最小限の診療設備の導入・更新を行う。H28年度器械備品購入額32,001千円
経営の効率化	収入増加・確保対策	計画	実績
		1)常勤医師増員に努め、病床運営に必要な看護師の確保により患者受入体制を整え、稼働率を向上し収益の増を図る。 2)地域包括ケア病床による回復期機能の強化により、入院収入の増を図る。 3)診療報酬の改定による加算点数の解析を行い、当院での現状と対策を検討する。	1)医師数の増員はなく、看護師は3人採用、年度末4人退職と受入れ体制について十分ではないが、病床稼働率はH27・72.13%、H28・76.36%と4.23%増加となった。 2)4階をケア病床に転換したことにより、一般病床の入院患者数が前年度より全病棟で2,063人増加、入院収益においても1億2千万円弱増収となる。 3)未実施。
経営の効率化	その他	計画	実績
		1)常に患者の意見を業務に反映できる体制づくりを行い、患者の満足度と信頼度の高い病院を目指す。	1)退院アンケートの結果は満足度がアップしており、さらにこの結果及び日々患者の意見を取り入れ医療などに満足度の高い病院を目指していく。H28アンケート件数774件、投書件数21件

各項目における実績の分析と自己評価	地域医療構想を踏まえた役割の明確化	・救急患者数については、砺波地域の救急搬送者の10%前後433件と横ばいであるが、家族等の搬送については前年度より200件程度減少している。計画には231件達成しておらず、H27実績よりも214件減少している。 ・手術件数については、特に整形外科の手術件数が全体の8割を占め、前年度より42件の伸びを示し、この要因が計画及び前年実績を超える数値となったものである。 ・患者紹介（転入）は計画に比べ69件の減となった。診療所や介護老人保健施設からの紹介件数が減少したことが要因であった。また、患者逆紹介（転出）は計画に比べ48件の増となった。病院、診療所、介護老人保健施設への逆紹介がいずれも増加したことが要因であった。これからも地域医療を支える病院として医療機関や介護施設等との連携を一層強化することで適正な患者紹介・患者逆紹介に努めたい ・在宅復帰率は地域包括ケア病床入院基本料の施設要件であり70%以上が必要である。退院支援に携わる医療スタッフの努力により計画の85%に比べ5.3%増の90.3%となった。 ・患者満足度についても、ほぼ計画値を超える結果となっており、患者に対する医療スタッフの努力が目標を達成させたものと考えられる。 ※以上のことから、概ね計画にあげた目標数値を達成しており、計画は順調に進んでいる。
	経営の効率化	・4月より4階一般病床(52床)を地域包括ケア病床に転換したことにより、入院患者数が増、病床稼働率68.92%→74.54%と5.62%増となり、入院収益は増収となった。費用については、給与費、施設管理委託料の見直し減により、純損益が計画比5千万円減、前年比1億5千万円減となるが、赤字解消には至らず累積欠損金は増加となっている。 ・入院患者数は地域包括ケア病床転換や手術件数の増加に伴い増えている。また、外来患者数はほぼ計画どおりとなった。 ・企業債残高については、H28がピークであり、毎年約3億の元金を順調に返済をしている。 ・費用について、医療機器の購入、診療材料の共同購入など節減に努めてはいるもののまだ節減の余地は見えて取れるため、いっそうの経費節減が必要である。 ※以上のことから、不断の経営努力により、H28年度の収益は改善した。
	その他	○再編・ネットワーク化、○経営形態の見直し、○点検・評価・公表等について、平成28年度は計画を策定した。具体的な取組の実施は平成29年度からとなるため、評価は次回からとなる。

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

年度		25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	28年度(実績)	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)	32年度(計画)
区 分										
収 入	1. 医 業 収 益 a	2,166	1,913	1,871	1,952	1,983	2,024	2,074	2,114	2,144
	(1) 料 金 収 入	2,063	1,810	1,763	1,853	1,870	1,911	1,961	2,001	2,031
	(2) そ の 他	103	103	108	99	113	113	113	113	113
	うち他会計負担金	36	36	36	36	36	36	36	36	36
	2. 医 業 外 収 益	435	430	447	449	450	475	350	322	317
	(1) 他会計負担金・補助金	424	411	429	432	432	442	316	294	292
	(2) 国 (県) 補 助 金	5	4	3	3	2	3		3	3
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入		9	9	9	10	17	17	11	8
	(4) そ の 他	6	6	6	5	6	13	17	14	14
	経 常 収 益 (A)	2,601	2,343	2,318	2,401	2,433	2,499	2,424	2,436	2,461
支 出	1. 医 業 費 用 b	2,730	2,478	2,381	2,366	2,352	2,476	2,497	2,332	2,319
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,267	1,337	1,352	1,350	1,336	1,410	1,435	1,445	1,445
	(2) 材 料 費	644	384	290	293	293	303	304	304	305
	(3) 経 費	422	418	410	399	404	425	423	421	420
	(4) 減 価 償 却 費	308	334	319	313	313	322	325	152	139
	(5) そ の 他	89	5	10	11	6	16	10	10	10
	2. 医 業 外 費 用	131	151	140	137	133	130	126	141	137
	(1) 支 払 利 息	88	83	79	75	75	70	66	61	57
	(2) そ の 他	43	68	61	62	58	60	60	80	80
	経 常 費 用 (B)	2,861	2,629	2,521	2,503	2,485	2,606	2,623	2,473	2,456
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		▲ 260	▲ 286	▲ 203	▲ 102	▲ 52	▲ 107	▲ 199	▲ 37	5
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)									
	2. 特 別 損 失 (E)		71							
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	▲ 71	0	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)		▲ 260	▲ 357	▲ 203	▲ 102	▲ 52	▲ 107	▲ 199	▲ 37	5
累 積 欠 損 金 (G)		3,236	3,593	3,796	3,898	3,848	3,955	4,154	4,191	4,186
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	648	374	501	603	662	624	544	490	450
	流 動 負 債 (イ)	141	569	567	551	569	570	557	555	606
	うち一時借入金									
	翌年度繰越財源(ウ)									
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)									
差引不良債務 [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)] (オ)		▲ 507	195	66	▲ 52	▲ 93	▲ 54	13	65	156
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		90.9	89.1	91.9	95.9	97.9	95.9	92.4	98.5	100.2
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		▲ 23.4	10.2	3.5	▲ 2.7	▲ 4.7	▲ 2.7	0.6	3.1	7.3
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		79.3	77.2	78.6	82.5	84.3	81.7	83.1	90.7	92.5
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$		58.5	69.9	72.3	69.2	67.4	69.7	69.2	68.4	67.4
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)		▲ 507	195	66	▲ 52	▲ 93	▲ 54	13	65	156
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$		▲ 23.4	10.2	3.5	▲ 2.7	▲ 4.7	▲ 2.7	0.6	3.1	7.3
病 床 利 用 率 (一 般 病 床)		47.0	45.8	47.0	50.2	58.8	51.6	75.0	77.0	79.0

団体名 (病院名)	公立南砺中央病院
--------------	----------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位: 百万円、%)

年度		25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	28年度(実績)	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)	32年度(計画)
区分										
収 入	1. 企 業 債	147	48	44	28	28	76	20	149	27
	2. 他 会 計 出 資 金	211	164	186	194	195	198	199	199	199
	3. 他 会 計 負 担 金									
	4. 他 会 計 借 入 金									
	5. 他 会 計 補 助 金									
	6. 国 (県) 補 助 金	47		3	3	3	57		3	3
	7. そ の 他	2								
	収 入 計 (a)	407	212	233	225	226	331	219	351	229
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)									
	前年度許可債で当年度借入分 (c)									
	純計(a)-[(b)+(c)] (A)	407	212	233	225	226	331	219	351	229
支 出	1. 建 設 改 良 費	242	50	47	39	36	130	20	143	33
	2. 企 業 債 償 還 金	276	262	299	315	315	320	322	309	307
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	31	49	54	60	59	68	68	68	68
	4. そ の 他									
	支 出 計 (B)	549	361	400	414	410	518	410	520	408
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	142	149	167	189	184	187	191	169	179
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	142	149	167	189	184	187	191	169	179
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額									
	3. 繰 越 工 事 資 金									
	4. そ の 他									
	計 (D)	142	149	167	189	184	187	191	169	179
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
	実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位: 百万円)

	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	28年度(実績)	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)	32年度(計画)
収 益 的 収 支	(300) 460	(286) 447	(306) 465	(311) 468	(312) 468	(313) 478	(129) 352	(110) 330	(110) 328
資 本 的 収 支	(38) 211								
		164	186	194	195	198	199	199	199
合 計	(338) 671	(286) 611	(306) 651	(311) 662	(312) 663	(313) 676	(129) 551	(110) 529	(110) 527

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう

4. 一般会計長期借入金の見通し

(単位: 百万円)

	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	28年度(実績)	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)	32年度(計画)
借 入 額			210	100	100				
年度末借入残高	623	574	730	771	771	703	635	568	500

平成28年度 南砺市病院事業会計決算の概要

南砺市医療課

病院事業全体

医業収益は前年度より110,617千円(2.3%)増の4,972,755千円、また、医業費用が前年度より90,685千円(1.6%)減の5,683,451千円、医業外費用が13,187千円(4.8%)減の263,309千円となったことなどから、平成28年度純損益は△114,310千円となり、前年度の△327,790千円から213,480千円の改善となりました。

	単位:千円			
	南砺市民病院	公立南砺中央病院	病院統括事業	病院事業計
医業収益	2,989,582	1,983,173		4,972,755
医業費用	3,298,437	2,351,891	33,123	5,683,451
(医業損益)	△ 308,855	△ 368,718	△ 33,123	△ 710,696
医業外収益	377,001	450,046	32,736	859,783
医業外費用	128,764	133,062	1,483	263,309
経常損益	△ 60,618	△ 51,734	△ 1,870	△ 114,222
特別損失		88		88
当年度純損益	△ 60,618	△ 51,822	△ 1,870	△ 114,310
(参考:平成27年度)	△ 125,086	△ 202,654	△ 50	△ 327,790

南砺市民病院

28年度の延患者数は、入院患者数が51,200人で、前年度に比べ2,060人(4.2%)増加、外来患者数は98,944人で、前年度に比べ701人(0.7%)減少しました。一日平均患者数では、入院患者が134.3人から140.3人となり6.0人の増加、外来は410.1人から407.2人で2.9人の減少となっています。入院患者数の増加により、病床利用率は76.7%から80.2%と増加し、診療科別では内科及び外科の入院患者が増加し、外来患者では歯科口腔外科及び小児科が増加しました。

収益的収支では、収入総額が3,366,583千円となり、前年度に比べ3,977千円(0.1%)減となりました。内訳として医業収益で1,948千円減、医業外収益で2,029千円減となりました。医業収益減の主な要因は、外来収益が12,107千円増となりましたが、入院収益は22,779千円減となったためです。一方、支出総額は3,427,201千円で前年度に比べ68,445千円(2.0%)減となり、内訳は医業費用で60,871千円減、医業外費用で7,574千円減となっています。医業費用が減となった主な項目は、給与費及び材料費が挙げられます。

これらの結果、純損益は60,618千円の赤字となりましたが、前年度と比較して医業収支は58,923千円、病院事業収支は64,468千円好転しました。また、新南砺市立病院改革プランの計画値に対しては、純損益で66,000千円上回りました。

公立南砺中央病院

28年度の延患者数は、入院患者数が41,528人で前年度に比べて2,194人(5.6%)増加、外来患者数は69,513人で前年に比べ1,066人(1.5%)の減少しました。一日平均患者数では、入院患者が107.8人から113.8人となり6.0人の増加、外来は289.3人から284.9人で4.4人の減少となっています。診療科別では入院・外来とも内科が減少し、整形外科では外来が減少したものの入院が15.1%増加しました。介護科においても入院が7,753人で前年度より914人(13.4%)増加しました。また、人間ドックの受診者も1,227人で前年度より97人(8.6%)増加しました。

収益的収支では、収入総額が2,433,219千円となり、前年度に比べ115,109千円(5.0%)増となりました。内訳として医業収益で112,565千円増、医業外収益で2,544千円の増となりました。医業収益増の主な要因は、入院収益が10.3%伸びたためです。一方、支出総額は2,485,041千円で前年度に比べ35,722千円(1.4%)減となり、内訳は医業費用で29,387千円減、医業外費用で6,423千円減、特別損失で88千円増となっています。医業費用が減となった主な項目は、給与費、経費(委託料)及び減価償却費が挙げられます。

これらの結果、純損益は51,822千円の赤字となりましたが、前年度と比較して医業収支は141,952千円、病院事業収支は150,832千円好転しました。また、新南砺市立病院改革プランの計画値に対しては、純損益で50,000千円上回りました。